



AMR 対策のために 適切な薬剤耐性菌検出検査を

2020年度の診療報酬改定により、薬剤耐性菌検出検査に対して
保険点数 **50**点 が新設されました。

細菌薬剤感受性検査

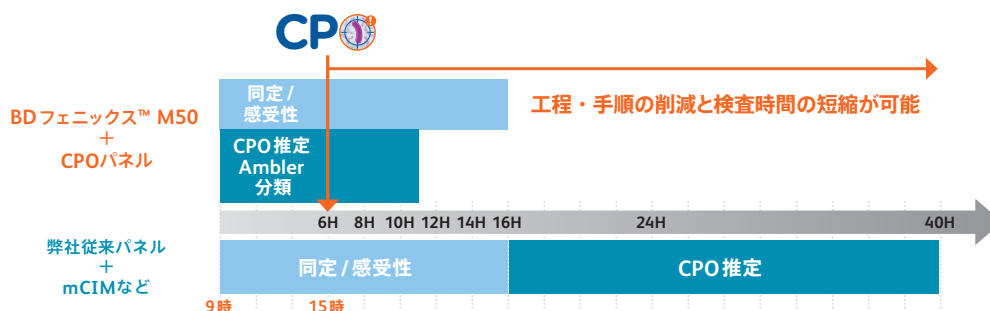
区分	項目	保険点数
D019 4	薬剤耐性菌検出	50 点

留意事項：「4」の薬剤耐性菌検出は、基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生、メタロβ-ラクタマーゼ産生、AmpC産生等の薬剤耐性因子の有無の確認を行った場合に算定する



販売名：BD フェニックス M50
製造販売届出番号：07B1X00003000159

CPO パネルを使用することで、薬剤感受性と同時に耐性菌推定が最短 6 時間で可能です。



CPO（カルバペネマーゼ産生菌）を見逃さない

- 日本で分離される CPO は IMP 型が多くを占めており、カルバペネムに対して明確な耐性を示さない型（MIC 値が上がらない）として知られています。
- MPEM の MIC 値が 0.25 ~ 1 µg/mL を示す菌は何等かの耐性因子を保有する可能性が高く¹⁾、これを見逃さずに検出することは、感染管理上極めて重要とされています。

1) 日本化学療法学会, 日本感染症学会, 日本環境感染学会, 日本臨床微生物学会, 委員会報告 四学会連携提案 カルバペネムに耐性化傾向を示す腸内細菌科細菌の問題 (2017): カルバペネマーゼ産生菌を対象とした感染対策の重要性. 感染症学会誌 92(1), 1-9, 2018-01.



MPEM 0.125 µg/mL から搭載する「BD フェニックス™ グラム陰性菌用 CPO パネル」では MIC 値の上がない CPO の推定が可能です。

体外診断用医薬品 販売名: BD フェニックス 製造販売承認番号: 21400AMY00156000 製造販売届出番号: 07A2X00012000301

耐性菌に関するウェビナーのご案内

第4回 大楠先生の「菌トレ」 CPE について

大楠 清文 先生
東京医科大学 微生物分野



www.bdj.co.jp/s/kintore4/

会員限定
コンテンツ
非会員の方も
会員登録後
ご視聴いただけます



菌トレでは、患者さんの臨床症状、病態を把握したうえでのグラム染色像や集落の観察で推定可能な菌種と効率的な同定プロセスを紹介するとともに、話題のトピックを取り上げます。第4回では CPE について詳しくご説明いただきました。



◀ 会員登録はこちらから
www.bdj.co.jp/s/kintore/

ESBL 産生菌について

中村 竜也 先生
京都橘大学 健康科学部
臨床検査学科



www.bdj.co.jp/s/wb-esbl/



院内感染を引き起こす代表菌種としては、MRSA や耐性緑膿菌などがしばしば話題となりますが、今回は新たに問題となりつつある菌「ESBL 産生菌」について、検出方法、疫学、薬剤感受性の実際等について、わかりやすく解説いただきました。

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地

本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ

カスタマーサービス ☎ 0120-8555-90 FAX: 024-593-3281

bd.com/jp/

